

『みなとまちから』

な か ば ん さく う え だ まこと え
nakaban/作 植田 真/絵
こうせいしゅっぱんしゃ
佼成出版社 [E]



ふねがようやくついたのは、とても
しずかな みなとまちです。いまにも あめが ふり
そうなそらですが、こんなてんきも わるくありま
せん。そのうちに、あめが ふってきました。あま
やどりをした おみせで つい、ねむってしまい、
ふしぎなゆめを みます。

『アリのおでかけ』

にしむら としお はくせんしゃ
西村 敏雄/さく 白泉社 [E]



アリが バスにのって おでかけです。
ぶーぶー ぶーぶー と のっていくと、でこぼこ
のみちが やってきました。なんと、それはワニ！
つぎは やまが みえてきました。ぶーぶー ぶー
ぶー といくと、こんどは ラクダです！ こんど
は なにに であうのでしょうか？

『津津浦浦』

の さ か ゆうさく ぶん え ふくいんかんしょてん
野坂 勇作/文・絵 福音館書店 [686]



作者の野坂さんは鉄道好き。全国の
列車に乗って気づいたことがありまし
た。それは、駅の名前に「津」や「浦」
の字の入る駅が多いことです。「津」と「浦」とつ
くところはどんな場所なのでしょう？ 自分でそ
の駅に行ってみたり、図書館で調べてみたりして、
つながりを探しに行きます。

『カリカリのぼうけん』

ぶしか えつこ ぶん なぎ にんぎょうせいさく え
武鹿 悦子/文 屈/人形制作・絵
かめだ りゅうきち しゃしん
亀田 龍吉/写真 リーブル [913]



ある日、ねずみのカリカリは いえを
でて、おうちさがしのたびに しゅっぱつ
しました。とうさんと かあさんに「じぶんのくら
しを はじめなさい」といわれたからです。カリカ
リは じぶんのおうちを みつけることが できる
のでしょうか。



『おじいちゃんとの最後の旅』

さい こ たび
ウルフ・スタルク/作
さく
キティ・クローザー/絵 え ひしき あきらこ やく
とくましょてん
徳間書店 [949]



ぼくは、入院しているおじいちゃんが
大好き。けれど、おじいちゃんは今まで
以上に口が悪く、怒りっぽくなっています。ぼく
は、そんなおじいちゃんのために病院を抜けだ
して、ふたりで旅に出る計画を立てました。目指
すは、小さな島。そこには、おじいちゃんとおば
あちゃんが住んでいた家があるのです。

『さんぽだいすき』

きしだ えりこ ちよう しんた
岸田 衿子/ぶん 長 新太/え
ひかりのくに [E]



こぶたの こぶちゃんは さんぽが だいすき。
さあ、きょうは なにを はいていこう。はたけのな
かがあるけば、ひろいみちにでます。このみちは
どこにいく みちなのかな？ もりかな？ それ
とも パンやさんかな？

『宿場町の日』

しゅくばまち いちにち
いわた しんじろう さく え こうだんしゃ
いわた 慎二郎/作・絵 講談社 [E]



日本で旅がはじめて盛んになった
江戸時代では、「はたご屋」という
旅館が集まった「宿場町」が旅をささえていまし
た。今の旅館やホテルと、どんなちがいがあ
るのでしょうか。はたご屋の一日をおいかけながら、
江戸時代の旅をのぞいてみましょう。

『絵で旅する 国境』

え たび こっきょう
クドル/文 ヘラン/絵



なかやま よしゆき/訳 ぶんけんしゅっぱん
文研出版 [312]

国と国とを分ける線、その国を取り
かこむ線のことを「国境」といいます。
国境は、壁がそびえ立つ場所もあれば
自由に行き来できる場所もあります。
国によって様々な形で決められている国境につ
いて考えてみませんか。

